

# 市政に対する 一般質問

12月定例会では21人の議員が市政全般について質問を行いました。

一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を必要最小限にして実施しました。

## Q 部活動の外部委託化について



無所属 小出水 宏泰 議員

問 部活動の地域化・外部委託化に対する考えと、地域化・外部委託化を実現していくにあたり、乗り越えなければならない課題は。

教育長 運営主体の確保や指導者等の人材確保、施設の確保、学校部活動との連携、財源の確保、保険の在り方、大会運営などの課題が挙げられる。国や県の動向に注視し、モデル地域での実践等を参考に、部活動の地域移行について検討していく。

## Q 物価高騰など現在の経済状況を踏まえたサンシティ建て替えの必要性について



越谷刷新クラブ 浅古 高志 議員

問 建築資材をはじめ物価の高騰や越谷市内人口も減少し始めており、将来の財政に影響を与えるが、改めて越谷サンシティの建て替えについて市長の考えは。

市長 現在のサンシティは、大規模修繕が必要な時期に差ししかかっており改修に多額の費用を要する。改修費用を大きく超える費用をかけてでも建て替えをして、収益性を追求するほうがよいという考え方に変わりはない。

## Q 出産・子育て支援に係る伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施について



公明党越谷市議団 久保田 茂 議員

問 伴走型相談支援の拡充として妊娠8カ月前後の面談の実施と越谷市に一番適した経済的支援を一体的に実施する考えは。

市長 速やかに実施に向けた着手ができるよう、国や埼玉県の動向を注視しながら、本事業の目的である、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の整備に努める。

## Q 夜間避難時の対応について



公明党越谷市議団 畑谷 茂 議員

問 夜間の避難誘導に重要となる情報伝達ツールに電光掲示板を活用する考えは。

市長 夜間において、迅速かつ正確な情報伝達や、聴覚障がい者に対しても分かりやすく誘導できるため、電光掲示板の導入について検討していく。

問 夜間などの防災訓練の考えは。

市長 先進事例を参考にしながら、地域の特性に即した効果的な防災訓練の実施に努めていく。

## Q 市内小中学校のタブレット端末の活用状況について



越谷刷新クラブ 野口 高明 議員

問 投じた予算は総額で約27億3千万円であり、大変高額かつ大規模な事業。タブレット端末の活用状況は。

教育長 各学校において活用が一層進んでいる。今年度10月の調査では1学級1日あたりのタブレット端末利用回数は平均2.57回となり、昨年度と比較して増えている。ICT活用の研究委嘱校の取り組みを市内に広める等、引き続きタブレット端末の効果的な活用について調査研究を進める。

## Q 令和5年度予算編成の考え方について



立憲・市民ネット 後藤 孝江 議員

問 コロナ禍や社会経済環境等に鑑みた令和5年度予算編成上の考え方は。

市長 市民が必要とする行政サービスを、スピード感を持って提供できるよう、限られた財源を効率的・効果的に配分し、実行性のある予算編成に取り組んでいく。公共施設等の老朽化への対応については、施設の必要性や方向性、整備手法、優先順位などを検討した上で、施設の改修、修繕費用等を予算化したいと考えている。

## Q CO<sub>2</sub>削減目標値の改定について



無所属 白川 秀嗣 議員

問 本市はCO<sub>2</sub>削減目標値を2030年度までに26%から、来年46%に改定する意向だ。46%の改定の手順も旧来通り、専門家に諮問し答申を受けるものだ。しかし数値を引き上げてもその実効性が問われているので、くじ引き民主主義と言われている、無作為で抽出された市民が主体となって策定していく手法に転換しては。

市長 専門家の意見をはじめ、さまざまな市民の声をできるだけ吸い上げていきたい。

## Q 補聴器購入における支援について



公明党越谷市議団 守屋 亨 議員

問 高齢者の「孤立化」を防ぐために、補聴器購入を支援する考えは。

市長 他自治体の実施状況を調査したうえで、事業を実施する場合の支援の在り方について、検討を進めている。議員ご提案の内容を踏まえ、既存の交付金等の活用を含めた財源確保の在り方と併せ、介護予防や認知症予防事業との連携など、効果的かつ効果的な事業実施に向けた検討を一層進めていく。

## Q 越谷市公式LINEについて



立憲・市民ネット 松田 典子 議員

問 現在、登録者のニーズに合わせた情報発信となっておらず、全情報が配信される一方通行のツールとなっている。福岡市のように双方向型コミュニケーションにする考えは。

市長 今年度末までに登録者が欲しい情報のカテゴリーを選択できるセグメント配信の機能を実装する。双方向でのコミュニケーション機能の導入については、先進地の運用を参考に今後検討を進めていきたい。

## Q マイナンバーカードと健康保険証の一体化について



日本共産党越谷市議団 山田 大助 議員

問 取得は任意のはずのマイナンバーカードを保険証と一体化することで、事実上の義務化になりかねない。いまだに具体的な中身が出てこないことから、実施時には住民・医療機関・市の混雑が予想される。国から通知等が出てしまえば、住民に不利益でも市としてはその通りにやらざるを得ないことが想定される。今のうちに、国に要望等するべきだが考えは。

市長 国の動向を注視していきたい。



現行のマイナンバーカードと健康保険証

## Q 公立保育所の保育士不足について



立憲・市民ネット 山田 裕子 議員

問 現在の公立保育所における保育士の欠員状況と、子どもたちの命を守る安心、安全な保育環境の確保の取り組みは。

市長 公立保育所では年々職員の確保が難しくなっており、勤務体制の工夫で必要保育士数を確保した保育を行っているが、超過勤務の増加など職員の負担も増えている。報道等による保育事故等については速やかに周知するとともに、保育所長会議で確認等を行い、安全な保育に努めていく。